

平成21年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	埼玉県における専修学校、高等学校の連携による職業教育体験学習「わくわく仕事塾」		
法人名	社団法人埼玉県専修学校各種学校教育振興会		
学校名			
代表者	会長 浅沼良臣	担当者 連絡先	事務局長 野本 重雄 TEL 048(865)2195
1. 事業の概要等			
<p>○ 経緯・背景</p> <p>本事業は、若者の職業意識の希薄化を憂慮し、職業意識の醸成と就労観の育成を図るためと、高等学校と専修学校の連携を一層推進するために、平成18年度からスタートし、平成19年度から文部科学省の委託事業として実施してきた。</p> <p>埼玉県、埼玉県教育委員会は、中退や不登校防止のため、青少年の生きる力の向上と豊かな体験を身に付けさせるため「埼玉の子ども70万人体験活動事業」を実施している。本事業は、これに応える事業として評価され、現在、埼玉県、埼玉県教委、埼玉県高等学校進路指導研究会（県高進研）の後援と協力のもと職業体験学習を実施している。</p> <p>○ 特徴</p> <p>開設講座は、工業6、医療7、衛生2、教育・社会福祉4、商業実務2、服飾家政3、文化教養4、情報5と多岐に亘るプログラムを設置した。全ての講座が2日間の実施で、各講座とも8時間から10時間実施し、見学・体験に止まらず、職業や専門の基礎技術が習得できる内容とした。また案内冊子や報告冊子を発行し、高校生等に職業・専門技術を身につける有意さを広報している。参加高校生一人一人の体験学習の状況を評価した評価書を在籍高等学校に配布し、2日間参加した高校生には、修了証を授与している。</p> <p>○ 事業の実施</p> <p>事業の実施に当たって、県教委（指導主事）、県高進研（会長・高校長）、本会正副会長等による実施委員会を組織し、事業全般の計画、高等学校との連携、事業評価等を行っている。この委員会の下に分科会を設け、事務局とともに、体験学習の運営・調整、高等学校連携、広報、実施のまとめ等の具体的仕事に当たっている。</p> <p>また、事業の実施説明会、実施打合せ会、実施報告会を開催し、専修学校の体験講座の充実、高校との具体的連携、事業の反省・評価等を広く行っている。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>開設講座数：33講座（昨年度 30講座） 参加専修学校数：25校（昨年度 21校） 参加高等学校数：39校（昨年度 32校） 受講者数：延418人（昨年度 延526人） （内訳：高1生213人 高2生38人 高3生他46人） 開催時期：高等学校の夏季休業中の7月21日～8月31日の間</p>			

2. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座の実施

体験講座名（講座概要）	開催日	受講者数
1. 自動車整備士の仕事を知ろう （自動車の仕組み構造の整備体験）	7月28日・29日	12
2. 航空整備士の仕事を知ろう （航空整備士の基本作業と実機の試運転）	7月27日・28日	12
3. 自動車整備・板金塗装の仕事を知ろう （自動車整備と板金塗装の体験）	7月31日・8月1日	4
4. 自動車のしくみと仕事を知ろう （自動車の仕組みと自動車の仕事の体験）	8月3日・4日	8
5. 初めてでも安心！「ゲーム」づくりに挑戦しよう （ゲーム開発を講義と実習で習得）	7月22日・31日	33
6. 見たい知りたい描きたい・キャラクターデザイナー （コンピュータによるキャラクターデザインを実践的に学習）	8月6日・7日	20
7. 遊びをクリエイト・ゲームクリエイター！ （CGキャラクターやゲームプログラミングを実践的に学習）	8月5日・6日	16
8. パソコンで製図・デザインしてみよう！ （製図やデザインをCADソフト使用法とともに学習）	7月29日・30日	6
9. CGアニメーションを作ってみよう！ （CGアニメーション制作・動画編集の体験）	7月27日・28日	12
10. Web ページをデザインしてみよう （ホームページ作成のプロの技を体験学習）	8月3日・4日	8
11. 自動車整備・製品づくりの仕事を知ろう （自動車整備と物づくり（CATIA）の体験）	7月27日・28日	6
12. はり師・きゅう師・トレーナーの仕事を知ろう （東洋医学の学習とはり・きゅう・テーピングの体験）	7月22日・23日	8
13. ケガを治せる接骨院の先生になろう！—国家資格 柔道整復師 （柔道整復師を知り、接骨院での業務を体験）	7月30・31日	4
14. 臨床検査技師の仕事を知ろう （臨床検査技師を知り、検査業務を体験）	8月3日・4日	2
15. はりとおきゅうを体験してみよう！—国家資格 鍼灸師— （東洋医療を知り、はり・きゅうを扱う体験）	7月21日・22日	2
16. 「国家資格 視能訓練士」って何する人？ （視能訓練士を知り、検査の実習体験）	7月21日・22日	0
17. 看護師の仕事を知ろう （看護師を理解し、測定や包帯法などを習得する）	8月4日・5日	34
18. リハビリの仕事を知ろう （作業・理学療法士の仕事を知り、リハビリを体験）	8月18日・19日	12
19. 「キレイ」を体験しよう・美容師 （美容師の仕事を理解し、ワインディングやウィッグの体験）	8月8日・29日	11
20. 理容師・美容師の仕事を知ろう （理美容師や技術理論を知り、技術の実習体験）	8月25日・26日	20
21. 介護のプロになろう （介護の仕事を知り、介護福祉士の仕事を習得）	8月20日・21日	8
22. 福祉分野の仕事を知ろう （介護・社会福祉士を知り、介助・食事・手話を習得）	8月8日・9日	27
23. 保育分野の仕事を知ろう （保育の仕事を知り、食育・遊び・図画工作・ピアノの体験）	8月8日・9日	19
24. 保育士の仕事を知ろう	8月27日・28日	27

(保育の現場を知り、ペープサート・遊び・入浴などを体験)		
25. 会計士・税理士・経理事務の仕事を知ろう (会計士・税理士等の仕事を知り、簿記の基本を学習)	7月31日・8月1日	7
26. 公務員の仕事と試験制度を知ろう (公務員の仕事を知り、試験問題にチャレンジする。)	7月31日・8月1日	4
27. アパレルメーカーの仕事を知ろう (洋服サンプルの企画から縫製までを実習体験)	7月23日・24日	14
28. ファッション業界の専門的な仕事を知ろう (ファッションデザイン・企画書制作・パターン製作を実習体験)	7月30日・31日	10
29. 広告デザインとホームページ制作の仕事を知ろう (広告デザイン・ホームページ制作の学習と実習)	7月30日・31日	0
30. 愛犬の健康診断をしてみよう・動物看護師 (動物の仕事や病気を知り、健康診断の実習体験)	7月21日・22日	5
31. 愛犬のトリミングを体験してみよう・トリマー (トリマーの仕事を知り、美容グルーミングの実習体験)	7月28日・29日	26
32. グラフィックデザイナーの仕事を知ろう (グラフィックデザインを学び、タイポグラフィとWebデザインの実験)	7月31日・8月1日	2
33. イラストレーターの仕事を知ろう (イラストレーターを知り、ソフトを学び、実習を通して、自分のスタイルや個性を見つける。)	7月31日・8月1日	40

②その他

昨年度より3講座多く実施し、全ての講座とも2日間の開催とし、職業技術、専門技術の基礎的部分が実習を通して学べるようにした。講義や見学を少なくし、専門技術者から直接話しを聞いたり、専門家の働く姿を目にする部分も取り入れた。専門技術に触れるだけでなく、専門技術の基本的部分を習得できる内容とした。

3. 事業の成果・評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況・評価について

○ 受講者へのアンケート調査結果

満足度(参加してよかったか)：大変満足61%、満足34%、普通5%、不満以下0%
将来の仕事の参考になったか：はい96%、どちらとも4%、いいえ0%

○ 高校教員へのアンケート調査結果(回収率70%)

「生徒の職業教育として有意義であったか」「プログラムの内容は適切か」「実施時期は適切か」の質問に全員が「はい」と回答し否定的意見は0であり、大変満足が100%であった。生徒の参加後の反応を聞いたところ、良い92%、普通8%、良くない0%であった。

高校生、高校教員ともに予想を大幅に超える好評価をしてくれた。これは各講座とも体験に止まらず、職業技術・専門技術の基礎を身に付けられる内容としたこと、実践的・実習的内容としたこと、修了証を授与したこと、参加生徒一人一人の参加状況の評価表を高校に送ったことによるものと思われる。

○ 実施専修学校へのアンケート

参加生徒一人一人の積極性、理解度、態度を聞いたところ、良い生徒80%、普通の生徒20%、悪い生徒0%と回答があった。

「生徒は職業により興味を持ちましたか」に100%が「はい」と回答し、「仕事の

内容は十分に伝わりましたか。理解させられましたか。」に「はい」90%、「普通」10%、「いいえ」0%の回答であった。実施専修学校も参加生徒が前向きに学んでくれたことに満足する回答を寄せている。

上記アンケートの結果や専修学校からの「実施後の意見・課題」、高校教員からの要望を聴取し、11月11日の実施報告会、1月25日の実施委員会で検討・評価・改善策を審議した。実施専修学校数、講座数、参加高校数は増加したが、参加高校生数が埼玉県の行事の関係で減少したことが指摘された。高校生から「今回の体験を将来に役立てたい。専門家はすごい。体験を生かし学業に励みたい……。」、高校教員から「評価や修了証がありがたい。普段の学習の大切さも学習できた。早い時期に進路意識をもたせることができた……。」という意見が寄せられていることを受けて、実施委員の県教委指導主事と高校長から、長くこの事業を継続する要望が出された。

また、今年度、県教委は、こうした成果を受けて、当事業と同じ内容で定時制高校生の職業体験学習を県内4つの専修学校を会場にして実施した。

②次年度以降における課題・展開

専修学校・高等学校および実施委員会・分科会・実施報告会でいくつかの改善点が出されている。

- 講座ごとの高校生参加人数のばらつきが多いので、第二希望を取り調整したほうが良い。
- 一人の高校生が複数分野の職業体験ができる新しい形式も研究する。
- 修了証授与は達成感を倍加させたので、より詳細な内容にする。
- 希望講座が重なって参加できない生徒がいる。日程調整の検討を。
- 当日の欠席・持参物等の連絡がすぐ専修学校と高等学校でできる体制確立を。
- 高校1、2年生の段階では職業全般の認知度が低く、専門性の高い技術・職業の講座が選ばれない傾向にある。職業や専門技術に関する広報を充実させる。
- 昨年に引き続き同じ講座を選んでくる意識・意欲の高い高校生が出てきたので、講座内容を少しずつ変える必要がある。

こうした改善点を実施説明会や分科会で討議し内容の改善を図っていく所存です。また、「産業社会と人間」「総合的学習の時間」として参加した高校生は、レポートを作成したり、クラス・授業発表などをし、参加しなかった高校生にも職業意識の向上に役立っている。高校生の職業意識を高める当事業をさらに推進することによって、県高進研との協力関係を深め、高等学校との連携を一層図っていききたい。そして、職業教育のスペシャリストとしての専修学校の存在意義を高めていく所存です。